



森林で、川で、元気いっぱい =オホーツクの森「こども探検隊」=

7月23日(日)、オホーツクの森で北見市内などの小学生12名が参加して「こども探検隊」を行いました。

これは、森林での自然観察や遊び体験などを通じて、森林や自然の魅力の発見と併せて、森林・林業や自然の大切さを感じてもらうために、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得て行ったものです。

まずはじめに、初めて会った子どもたちが、仲良くなるためのゲーム「アイスブレイク」を行った後、2グループに分かれて行動開始です。

森林探検では、ジャンケンや早口言葉、双眼鏡を使った動物カード探しなどにチャレンジしました。



▽川遊びを楽しむ子どもたち



▽木エクラフト作成の様子

その後、昼食まで川遊びをしたり「オホーツクの会」の協力で設置したブランコやハンモックを楽しみました。

午後からは、カラマツのマツボックリでフクロウを作成したり、木の枝を使ったパチンコを作成したところ、子どもたちはできあがったパチンコを手に、的当てに夢中でした。

また、今回の「こども探検隊」では、送迎の保護者の方を対象として、花炭の作成や森林散策などを行ったところ大変好評でした。

森林での楽しい1日! =生田原教育センター「森林学習」=

7月15日(土)、オホーツクの森で森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得て、遠軽町生田原教育センター主催の「キッズ・チャレンジクラブ」を支援しました。

当日は、年長から中学生までの29名の子どもの参加があり、5班に分かれて森で、川で、自然の中で、森林探検やクラフト作りなどを楽しみました。

森林探検は、子どもたちだけのグループで、ジャンケンやクイズ、双眼鏡を使った動物カード探しなど、5つの問題が出されていましたが、上級生が下級生をしっかりとリードして、課題をクリアしていました。

午後からは、木の枝を使ったパチンコ作りを行い、子どもたちは枝に輪ゴムを付けるのに苦労していましたが、できあがったパチンコを手到的に夢中でした。

当日は、気温が今夏最高の36.9℃となり熱中症が心配されましたが、子どもたちは元気いっぱい「オホーツクの森」を遊び回り、予定時間を繰上げた13時30分に帰路につきました。

この活動支援は、今年度で3年目となりますが、子どもたちに大変好評で、今後も内容を工夫するとともに新たな趣向で、取組みたいと考えています。



▽動物カードを探す子どもたち



▽エサを啜えたキタキツネ

キタキツネが餌を捕獲! =野生生物調査結果=

7月3日～24日、「オホーツクの森」の自然再生モデル林で「自動撮影装置による中大型ほ乳類調査」を実施しました。

これは、赤外線感知装置付きのデジタルカメラ(6台)を道路沿いに設置し、生物が装置の前を通ると自動的に24時間撮影が行われるもので、今回の調査では、ほ乳類が4種(エゾシカ・キタキツネ・エゾタヌキ・エゾクロテン)と鳥類が2種(キジバト・ヤマシギ)などが撮影されました。

常呂川森林ふれあい推進センター
http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html
〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3
【TEL】0157-23-2960【FAX】0157-26-2144

